

学校法人広島国際学院
広島国際学院大学自動車短期大学部
機関別評価結果

平成 26 年 3 月 13 日
一般財団法人短期大学基準協会

広島国際学院大学自動車短期大学部の概要

設置者 学校法人 広島国際学院
理事長 鶴 素直
学 長 奥田 勉
A L O 濱谷 克則
開設年月日 昭和 39 年 4 月 1 日
所在地 広島県広島市安芸区上瀬野町 517-1

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
自動車工業科		100
	合計	100

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	整備工学専攻	10
	合計	10

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

広島国際学院大学自動車短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 26 年 3 月 13 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 24 年 6 月 21 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は建学の精神「教育は愛なり」の下に教育理念「信和、協同、実践」が確立され、この教育理念を具現化するための教育目的・目標が確立されている。教育目的は、学則に「自動車工業に関する学理とその応用を深く教授研究し、自動車工業界に有用な教養豊かで実践力に富む中堅的人材を育成することを目的とする」と明示し、第一義的な教育目標を二級自動車整備士の育成としている。これらの教育目的・目標は大学案内等で学内外に表明し、学生にはガイダンス等で周知している。また学習成果の評価については、各授業科目の成績、二級自動車整備士登録試験の合格率、2 年次の実力試験などを基に、量的・質的に測定する基本的な仕組みを有している。重点目標とする自動車整備士の資格取得に関しては、年度末に達成状況の確認と次年度の目標設定を行い、各委員会と「広島国際学院大学自動車短期大学部運営会議」において検討を行うとともに、その進捗状況を定期的に教職員全員で確認するなど、PDCA サイクルの中で教育の向上・充実に努めている。

広島国際学院大学自動車短期大学部自己点検・評価委員会規則を定め、推進チームを組織して各部署・担当で日常的に自己点検・評価を行っている。自己点検・評価活動の進捗状況は教職員全員による全員集会で報告され、情報の共有がなされるとともに、それらの結果として自己点検・評価報告書を作成し、ウェブサイト等により公表している。ただし、今年度第三者評価において提出された自己点検・評価報告書は、本協会指定の「自己点検・評価報告書作成マニュアル」に従って作成されていなかった。今後は、より一層自己点検・評価に組織的に取り組むことが望まれる。

学位授与の方針を点検・評価するために、全員集会で目標の進捗状況が報告され、課題等の問題点がフィードバックされている。三つの方針である学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針はウェブサイトにも明示されている。なお、一部の科目については、シラバスの 15 週目に試験の実施やレポート提出が組み込まれており、一単位当たり 15 時間の授業時間が確保されていないため、教育の質を維持するためにも、早急に改善されたい。

入学者受け入れの方針の下、明確な教育目的・目標とそれに基づく学習成果を示しており、多様な入学者選抜試験を行っている。学習成果は、資格取得や就職率の高さに鑑み、2年間で獲得可能で、実際的な価値を有している。また、学生の心身の支援、進路支援、生活支援など多岐にわたる学生支援の体制が整えられている。

教員組織は、短期大学設置基準に基づき適正に編成されている。FDに関する規程が整備され、それに基づきFD研修会等を開催し、学習成果向上へとつなげている。事務職員は、学校法人が統括するSD研修会に参加して職務のスキルアップに取り組み、様々な支援を通して学習成果の向上に貢献している。また、校地・校舎、施設設備とともに短期大学設置基準及び国土交通省の「自動車整備士養成施設の指定等の基準」を満たしており、授業に用いる情報機器類が整備され、管理体制も整っている。財的資源については、余裕資金はあるものの、定員未充足の状況が続き、資金収支及び消費収支ともに、過去3か年支出超過の状態である。今後、文部科学省の指導により策定された平成23年度から5か年の経営改善計画の着実な実施により、財的資源をはじめとする安定的な経営基盤の確保が望まれる。

理事長は、建学の精神、教育理念等を理解し、学校法人全体の発展に深く寄与し、理事会も十分に機能している。学長は学長任用規則に基づき選考され、教育方針・目的を達成するために短期大学部長と連絡を密にしている。理事会、評議員会は、寄附行為に基づき開催され、それぞれの役割を果たし、適切に運営されている。監事は理事会、評議員会に出席して意見を述べるとともに業務・財産の状況について適切な監査を実施し、ガバナンスが機能している。教授会は規程に従って開催され、教育研究及び運営等に関する重要事項を審議するなど短期大学の運営体制も確立されている。

毎年度の事業計画と予算は経営改善計画に基づき編成され、適正に管理・執行されている。また、財務情報及び教育情報についても、関係法令に従ってウェブサイト等で公表・公開されている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

○ 入学前の基礎学力向上を目的に、入学予定者全員に対して数学の基礎について通信による入学前教育を実施し、添削による学習指導が行われている。さらに、その

結果を基に学習成果の把握・評価を行い、入学後の習熟度別クラスの編成の資料として利用するなど、教育効果の向上が図られている。

- 期末試験や自動車整備士の模擬試験などの成績処理を迅速かつ確実にを行うために、独自のコンピュータプログラムを開発し利用しており、学習支援への素早いフィードバックを可能にしている。
- 学内会社説明会が全教職員の協力体制で実施され、多くの企業の参加を得ており、全体の就職率の高さに加え専門職への高い就職率が維持されている。
- 図書館において、テーマに沿った蔵書を展示する企画展を年に数回開催している。また、借出図書数の多い学生を表彰するなど、学生の図書離れの防止と図書館利用率の向上に向けて積極的な取り組みが行われている。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ C 自己点検・評価]

- 今年度、第三者評価を受けるに当たって作成・提出された自己点検・評価報告書は、本協会の作成した「自己点検・評価報告書作成マニュアル」に従って記述されていなかった。今後は、より一層自己点検・評価に組織的に取り組むことが望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

- 一部の科目について、シラバスの 15 週目に試験の実施やレポート提出が組み込まれているため、一単位当たり 15 時間の授業時間を確保し、教育の質の維持に努められたい。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ D 財的資源]

- 平成 23 年度より経営改善計画に基づき努力しているが、学校法人全体・短期大学部門ともに支出超過であり、収容定員未充足が続く状況となっている。経営改善計画が達成されるよう、一層の努力が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

当該短期大学は建学の精神「教育は愛なり」の下に教育理念「信和、協同、実践」が確立され、この教育理念を具現化するための教育目的・目標が確立されている。教育目的は学則に「自動車工業に関する学理とその応用を深く教授研究し、自動車工業界に有用な教養豊かで実践力に富む中堅的人材を育成することを目的とする」と明示し、第一義的な教育目標を二級自動車整備士の育成としている。これらの教育目的・目標は学生便覧、ウェブサイトで学内外に表明し、学生にはガイダンス等で周知している。また、二級自動車整備士の育成という教育目標の達成のため、学習成果の評価については、各授業科目の成績、二級自動車整備士登録試験の合格率、2年次の実力試験などを基に、量的・質的に測定する基本的な仕組みを有している。重点目標とする自動車整備士の資格取得に関しては、年度末に達成状況の確認と次年度の目標設定を行い、各委員会と運営会議（各委員会及び教職員代表で構成）において検討を行うとともに、その進捗状況を定期的に教職員全員で確認するなど、PDCA サイクルの中で教育の向上・充実に努めている。

自己点検・評価活動について委員会規則を定め、推進チームを組織して各部署・担当者で日常的に自己点検・評価を行っている。自己点検・評価活動の進捗状況は原則3か月ごとに行う全員集会で報告され、情報の共有がなされるとともに、それらの結果をまとめた自己点検・評価報告書を隔年で発行し、関係各機関への郵送、ウェブサイト等により公表している。ただし、今年度第三者評価において提出された自己点検・評価報告書は、本協会の「自己点検・評価報告書作成マニュアル」に従って作成されていなかったため、不足する情報については提出資料の事業報告書等も参考にせざるを得なかった。今後は、より一層自己点検・評価に組織的に取り組むことが望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

学位授与の方針は、教育目的・目標に基づく教育課程により卒業までに身に付ける学習成果として、ウェブサイトに公開され学内外に表明している。学習成果として二級自動車整備士資格の取得を掲げており、社会的な通用性を有している。

教育課程編成・実施の方針は、学位授与の方針に対応しており、ウェブサイトで明

示されている。教育課程は専門科目及び基礎科目ともに十分であり、授業科目は各学年に適切に配分されている。成績評価は、期末試験評価を中心に授業態度等を総合的に評価し、最終的な国家資格の合格率を用いてアセスメントを行うなど、教育の質保証に向けて積極的に努力している。また、履修登録状況や単位取得状況の一覧表を作成して運営会議や教授会で協議するとともに、教育目標の達成状況を把握している。シラバスは必要事項が明示され、更に学生に分かりやすいシラバスの作成を目指して検討・改善が進められているが、一部の科目については、シラバスの15週目に試験の実施やレポート提出が組まれており、一単位当たり15時間の授業時間が確保されていないため、教育の質を維持するためにも、早急に改善されたい。

入学者受け入れの方針は、学生募集要項及びウェブサイトにて明記して公表されている。多様な方法による入学者選抜試験の実施は、入学者受け入れの方針に対応している。

毎年度の前後期末に授業アンケートを実施し、授業担当者はこの結果を受けて授業改善計画を作成して授業の改善に努めているが、今後は授業改善計画の内容を全教職員で共有し、組織的な改善につなげることが望まれる。

学生生活支援として、チューターと学事課が学生から聴取した意見や要望について学生生活指導委員会で検討が行われ、適切な対応がなされている。学生食堂、売店、駐車・駐輪場の設置やスクールバスの運行など、キャンパス・アメニティは施設設備ともに配慮がなされている。公的機関による奨学金のほかに、独自の各種奨学金制度を設けており、特に下宿生支援奨学金制度を設けて経済的支援が行われている。

チューター制による学生指導とともに、国家試験に向けて教職員一丸となった指導体制が構築されて、ほぼ全員の合格を達成している。教員は、分担して卒業生の主要な就職先を訪問して卒業生の状況を調査するとともに、年1回の主要企業との懇談会においてヒアリングを行い、次年度の就職支援に活用している。今後は企業からのヒアリング結果を集約・分析して質的データとし、学習成果の点検に活用する組織的な取り組みが望まれる。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

教員組織は、短期大学設置基準及び国土交通省の定める「自動車整備士養成施設の指定等の基準」を満たすとともに適切に配置され、専門科目のほとんどは専任教員が担当している。研究業績に個人差はあるが、教育実績やその他の経歴等、短期大学の教員としての資格と資質を備えている。教員の採用、昇任は短大教員選考規程により行われている。教員には研究室が整備され、研究成果は「広島国際学院大学研究報告」や「自動車整備技術に関する研究報告誌」などで公表されており、研究活動状況はウェブサイトにて公開されている。なお、研究活動に関する規程が未整備なため改善するとともに、外部研究費導入に向けて積極的に活動することが望まれる。

教授会は入試の合否判定や在学生の成績判定などを審議し、また、教職員が構成する各種委員会とは関係部署間の連携がとれ、入試や教育、生活指導、就職など学生に直接関連することを検討して改善を図っている。FD活動はFD推進委員会を中心に行わ

れている。

事務組織は、各部署の長が責任者として規程に基づき職務を遂行している。防火・防災及び情報セキュリティにも対策がとられ、適切に管理・運営されている。SD活動については「職員の研修に関する規程」を整え、学校法人全体の研修会や外部の研修会に参加して専門的能力や教育能力の向上に努めている。教職員の就業は「学校法人広島国際学院就業規則」により管理され、就業規則は各種規程とともに学内関係者専用のウェブサイトで閲覧ができ、規程集として各部署に配付し周知している。なお、就業規則は整備されているが運用上の課題があり、また、日常業務において業務の見直しが進まない現状も課題として認識されており、今後の改善が望まれる。

校地・校舎、施設設備とも短期大学設置基準及び国土交通省の自動車整備士養成施設の指定等の基準も満たしている。学内 LAN のほか、授業に用いる情報機器類も整備され、管理体制も整っている。図書館（自動車短期大学分館）は適切な面積を有し、閲覧室も適切な座席数が確保されている。自動車関連の専門書籍を多数有し、学術雑誌数、AV 資料数ともに整えられている。

財的資源については、学校法人全体・短期大学部門ともに支出超過であり、収容定員未充足が続く状況となっている。このため、文部科学省からの指導により、平成 23 年度から 5 か年の経営改善計画を作成して、学校法人全体で経営改善に取り組んでいる。今後、経営改善計画の着実な実施により、財的資源をはじめとする安定的な経営基盤の確保が望まれる。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は、寄附行為に基づき、学校法人の代表として業務を総理し、建学の精神及び教育理念・目的を十分に理解し、経営改善計画の実施等、学校法人の運営全般においてリーダーシップを発揮している。

理事会は、寄附行為及び関係法令に基づき適切に選任された理事により構成されており、理事は建学の精神を理解するとともに、学校法人の健全な経営について学識及び見識を有している。

学長は、学長任用規則等に基づき選任されており、長年の教育研究により優れた学識を持ち、大学経営に関する豊かな経験と高い見識を有している。また、学長は、建学の精神に基づく教育研究を推進し、教育機関としての価値向上、充実に努めている。

教授会は、規程に従って開催されており、教育研究及び運営等に関する重要事項を審議するなど、教育研究上の審議機関として適切に運営されている。また、学習成果及び三つの方針に関しても、審議・見直しを行っている。

監事は、寄附行為及び学校法人広島国際学院監事監査規則の規定に基づいて、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行っており、私立学校法の規定に基づく監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出している。また、監事は、理事会・評議員会に出席し監査の状況について意見を述べるほか、必要に応じて助言・勧告を行うなど、監査機能の役割を十分に果たしている。

評議員会は、私立学校法及び寄附行為の規定に基づいて適正に組織され、予算・事

業計画等の諮問事項について審議・意見表明を行っており、理事長の諮問機関として適切に運営されている。

監事の公認会計士との連携も適切であり、ガバナンスが適切かつ有効に機能していると認められるが、ガバナンス体制の更なる強化のために内部監査室等を設置し、運営状態の管理監督がなされることが望まれる。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

教養教育の取り組みについて

総評

『基礎科目』の履修を通して、人格形成の基本となる基礎的な教養と学力を修得し、自らの考えを的確に表現できるとともに、相手の主張を正しく理解するコミュニケーション能力と問題探求能力を身に付けている」という学位授与の方針に基づき、教養教育の目的が適正に設定され、ウェブサイトを通して広く公表されている。教育課程編成・実施の方針に対応して、自動車技術分野で求められる高度な技術を発揮するためのコミュニケーション能力や人間関係能力を養うことを目標として教養教育科目が編成されるとともに、特別なプログラムが設けられている。

教養教育科目として倫理学、法学、社会学、哲学、英語、情報処理基礎演習を開講し、学科の特色を踏まえて「コミュニケーション技法ゼミ」や、自動車レース競技への出場を目指してチームワーク活動を最重要視した「レース車製作ゼミ」などを設置している。専攻科整備工学専攻ではより高度な専門技術とチームワークを必要とする「モータースポーツ研究ゼミ」を開講し、基本的な人間関係の理解と確立を図っている。

担当教員の任命やシラバスの改訂は毎年行われ、実施体制が確立している。シラバスは学生が授業内容を把握するために必要な情報を明示しており、ウェブサイトや学生便覧によって公表されている。学習成果の評価は専門科目同様に適正に行われている。

教養教育は知的領域だけでなく人格形成領域の能力育成を対象としているが、現時点では科目ごとの評価にとどまり、総合的な測定・評価がなされていないことから、今後この点にも取り組むことが検討されている。また、多様な学生に対応した、人格育成につながる体系的取り組みを模索しており、試みとしてチューターの数を増やし、きめ細かい指導と支援が計画されている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 学科の特色に合わせた科目としてコミュニケーション技法ゼミやレース車製作ゼミなどが設けられ、自動車技術の専門分野で問題解決につながるコミュニケーション能力の育成と、自動車レースで重要なチームワークの修得を目指している。専攻

科においてはより高度な専門技術とチームワークを必要とするモータースポーツ研究ゼミを設けている。

職業教育の取り組みについて

総評

教育目標では、単に自動車整備士を養成するにとどまらず、技術・時代の進歩に機敏に対応し、社会に柔軟に対応できる広い視野と人間性を有し、信頼され社会に貢献できる人材の育成を目指している。今日の若者気質や多様な価値観を持つ入学生を考慮し、教養教育や、選択科目ではあるが多くの受講者のある「クルマの整備業」、「ゼミナール R（就職対応ゼミ）」を開講して人間教育や職業教育を導入し、卒業後の社会生活への適応性を高めるための授業科目を設置しており、職業教育の役割・機能、分担を明確に定めている。

1年次前期に自動車整備士の業務の内容、範囲等を教授する「クルマの整備業」を開講し、また、入学後半年前後から就職活動に入るという最近の就職状況を考慮して、後期には「ゼミナール R（就職対応ゼミ）」を開講するなど、職業教育の展開時期が考慮されている。卒業後に就く自動車工業界や職種に対する知識を学生に持たせ、資格取得に向けた2年次後期の「2級自動車整備士技術講習会（ガソリン・ジーゼル）」に臨めるよう配慮がなされており、高等学校における後期中等教育と職業教育との円滑な接続が図られている。また、2年次進級時には実力試験を行いそれまでの学習成果を測り、各教員は習熟度別に割り当てた少人数の学生に対して個別指導を実施するなど、学習支援の体制を整え、自動車整備士登録試験の準備を円滑に進める方策がとられている。

職業教育を担う教員は、公益社団法人自動車技術会や一般社団法人広島県自動車整備振興会が主催する技術講演会、見学会や技術講習会に参加してスキルの向上に努めている。

職業教育の効果を測定・評価する指標の一つとして、国家試験の合格率を用いている。年度ごとにこの目標値を設定して、全教職員の協力の下に組織的に取り組むとともに、学生アンケートの結果や就職先企業の意見・要望を聴取して教育効果の測定・評価を行うなど、改善に取り組んでいる。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 2年次進級時に実力試験を行ってそれまでの学習成果を測り、各教員が習熟度別に少人数制の個別指導を実施する学習支援の体制が整えられ、自動車整備士登録試験の準備を円滑に進める方策がとられ、ほぼ全員の合格率と専門職への高い就職率を維持している。

地域貢献の取り組みについて

総評

当該短期大学の教員は、その多くが自動車技術に造詣が深い。このことから、大きな人身事故を招く車両火災について、広島市消防署と協力して原因の究明に寄与している。また、消防署員に対して、学内施設を使って車両火災の説明会を開催し、車両火災の早期消火や安全な消火活動について貢献している。

平成 21 年度から、広島県職業能力開発協会の依頼を受け、働く人達の技能や知識を一定の基準によって検定し公証する国家技能検定制度における「技能検定・内燃機関組立部門」の検定委員を委嘱され、毎年 2 人の教員を派遣している。

ボランティア活動への参加は、教職員、学生ともに自主的な参加が中心であり、組織的な参加には至っていないが、より多くの教職員・学生がボランティア活動に積極的に参加するよう、啓蒙活動が続けられている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 自動車技術という知識・経験等を持つ人的資源を生かして公共機関との協力を行うなど、地域社会に対する貢献がなされている。